

## HOT NEWS OF JAPANESE NUTRITION/HEALTH INDUSTRY DECEMBER, 2005

来春の花粉症シーズンに向けて、産学連携コンソーシアムにより開発された新素材を用いた商品が本格発売される事となった。今年の花粉症シーズンではキッコーマンの「トマトのちから」、キリングroupの「KW 菌」、カルピスの「L-92」が話題となり、大きな実績を残した。来年は新たに産学連携の産物が市場参入する。アサヒ飲料、森永製菓もどちらもお茶の専門企業ではない。また、機能性原料の開発力も十分とは言えないが、その不足を外部からのシーズ導入、特に政府系研究機関、大学などとの共同開発により補った。以前から産学連携は声高に叫ばれていたが、今回のような具体的な成果として商品が話題となる例は初めてではないだろうか。前号ではカルピスとコカ・コーラの例を取り上げたが、健康産業のR&Dの分野も多面的に考えていく必要がある。この事は、R&D機能を持たない企業が川上に垂直統合する事が可能となる。販売力のある販売会社にも、独自性の高い新素材を開発するチャンスがある。一方で開発力のある企業はダイレクト・マーケティングに力を注ぎ始めている。業界内の競合関係のあり方も徐々に変化しているようである。

### **NEW PRODUCTS**

#### **アサヒ飲料、「べにふうき」の茶葉を使用したアレルギー対応飲料を限定発売**

アサヒ飲料株式会社は、「メチル化カテキン」を多く含むことで注目されている茶品種「べにふうき」の茶葉を使用した「アサヒ べにふうき緑茶 PET350ml」を2006年1月18日より、通信販売限定で販売する。また、販売に先立ち、本年12月9日より、インターネット上で先行注文の受付を開始する。「アサヒ べにふうき緑茶」は、本年1月19日より、インターネット上でテスト販売を実施したところ、予想を上回る売れ行きで、発売から約1ヶ月で準備した約4,000箱(24本入り)を完売した。2006年は約30,000箱を準備する。



アサヒ飲料株式会社、森永製菓株式会社、(独)農業・生物系特定産業技術研究機構野菜茶業研究所、九州大学大学院農学研究院、名古屋女子大学家政学部、静岡県立大学薬学部、東京海洋大学保健管理センターが共同で「生物系産業創出のための異分野融合研究支援事業」(農業・生物系特定産業技術研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター)によるコンソーシアムを形成して「茶の抗アレルギー作用を利用した食品の開発」を進め、「べにふうき」の茶葉に含まれるメチル化カテキンの基礎研究、「べにふうき」を使った製品開発研究に取り組んでいる。(2005年12月9日 アサヒ飲料 プレスリリース)

### 森永製菓、メチル化カテキンを多く含む「べにふうき緑茶キャンディ」を発売

森永製菓株式会社は、メチル化カテキンを多く含むことで注目されている「べにふうき」緑茶を原料としたキャンディの商品化を目指して(独)農業・生物系特定産業技術研究機構野菜茶業研究所と共同開発をし、「べにふうき緑茶キャンディ」として来年1月23日より東京・埼玉地区の一部のコンビニエンスストアでテスト発売する。「べにふうき」とは、野菜茶業研究所(元農林水産省野菜・茶業試験場)にて育成され、1993年に命名、農林登録された茶品種。もともと紅茶用として開発されているため、香りがふくよかで渋味が強いという特長がある。その後、「メチル化カテキン」が豊富に含まれており、抗アレルギー作用があることがわかった。(2005年12月9日 森永製菓 プレスリリース)



### 大塚製薬、糖質の摂りすぎが気になる中高年向けサプリメント「ネイチャーメイド α リポ酸」を発売

大塚製薬株式会社は、中高年の生活を応援するファンクショナルシリーズとして、「ネイチャーメイド」α リポ酸を12月14日より新発売する。「ネイチャーメイド」は、日常の食生活で不足しがちな栄養素であるビタミンやミネラルを補給するサプリメントとして1993年より販売開始された。「ネイチャーメイド」ファンクショナルシリーズは、2002年4月から中高年のよりアクティブな毎日を応援するためのシリーズとして大豆イソフラボン、グルコサミン、コエンザイムQ10、DHA、植物ステロール、L-カルニチン、ルテインの7品を販売しており、今回α リポ酸が新たに加わる。(2005年12月9日 大塚製薬 プレスリリース)



### ファンケル、抗酸化物質サプリメント「アスタキサンチン」を発売

株式会社ファンケルは、優れた抗酸化成分として注目を集めている『アスタキサンチン』(30日分/1,890円)を12月21日よりファンケルの通信販売・直営店舗にて新発売する。販売目標額は5億円/年。ファンケルの『アスタキサンチン』には眼精疲労軽減及び、運動によって体内に発生する疲労物質・乳酸の上昇抑制効果が認められている研究データをもとに、6mg/日のアスタキサンチンを配合している。(2005年12月13日 ファンケル プレスリリース)



### 森下仁丹、脂肪燃焼促進のローズヒップサプリメントを発売

森下仁丹株式会社は、ローズヒップの果実まるごとエキスとシトラス、L-カルニチンの3成分を配合したサプリメント「ベータ the ダイエット」を12月5日より通信販売で発売する。森下仁丹は、京都薬科大学との共同研究で、ローズヒップに含まれる「ティリロサイド」というポリフェノールの一種に脂肪燃焼効果があることをマウスとヒト試験で確認している。(2005年11月30日 森下仁丹 プレスリリース)



### ポッカ、アレルギー対応のレモンポリフェノール飲料を発売

株式会社ポッカコーポレーションは、レモンポリフェノールの健康機能に注目したレモン飲料「ポッカ 100 リシール缶 レモン効果」(100ml、希望小売価格 190 円)を、2006 年 1 月 10 日より全国で新発売する。「レモン効果」シリーズは、毎日の忙しさによって不摂生な生活を送っている現代人に提案する、レモンの特定機能素材に着目した果汁飲料。昨年、同時期に発売した「春対策レモン効果」では、機能素材として関心の高いレモンポリフェノールのひとつである"ヘスペリジン"を1本あたり 400mg 配合し、季節に敏感な消費者から好評だった。今年にはさらにもう一種のレモンポリフェノール"エリオシトリン"を新成分としてプラスし、よりレモンの成分にこだわった商品に進化させた。(2005 年 12 月 15 日 ポッカコーポレーション プレスリリース)



## SCIENCE UPDATES

### 小林製薬、ペパーミントエキス含有食品によるアトピー性皮膚炎症状改善を確認

小林製薬株式会社は、ペパーミントエキス含有食品が、アトピー性皮膚炎の症状改善に有用である可能性を初めて確認した。アトピー性皮膚炎患者に、ペパーミントエキス含有食品(錠剤)を4週間摂取してもらったところ、症状の改善が明らかとなった。本研究は、長谷川皮フ科医院(京都市右京区 長谷川義博医師)と共同で実施し、試験結果は第8回日本補完代替医療学会(2005年11月13~14日)で発表した。(2005年12月2日 小林製薬 プレスリリース)

### サントリー、植物性乳酸菌“S-PT84”に関する最新の研究成果を日本免疫学会で発表

サントリー株式会社健康科学研究所は、植物性乳酸菌 *Lactobacillus pentosus* S-PT84 株(以下、S-PT84 株)に、免疫機能(腸管免疫)を活性化し、感染に対する抵抗性を高めることを見出し、第35回日本免疫学会総会・学術集会(12月13~15日)にて発表する。植物性乳酸菌 *Lactobacillus pentosus* S-PT84 株とはサントリーが(財)ルイ・パストゥール医学研究センターとの共同研究で発見した京漬物由来の植物性乳酸菌。約1,000株の乳酸菌の中から有力なもの16株を選定し、そのうちもっとも優れた免疫機能改善作用を有するのが、この“S-PT84”株だ。同社は、これまでにS-PT84株の効能(Th1/Th2バランス改善作用、NK活性増強作用、免疫低下抑制作用、抗アレルギー作用)を明らかにしてきたが、今回さらに、腸管免疫増強作用および細菌感染抑制作用が示唆された。(2005年12月13日 サントリー プレスリリース)

## COMPANY NEWS

### サントリー、2005年12月期通販売上予想は26%増の215億円

サントリー株式会社の2005年12月期決算では、通信販売事業の売上高が前期比26%増の215億円程度となる見込みだ。主力商品「セサミン」は新聞、テレビ、雑誌などで積極的に広告展開し、順調に新

規顧客を獲得、計画を約5億円上回る模様。通販事業の経常利益は、同50%増の約30億円となりそうだ。高い成長率を支えるのは、新規顧客の順調な獲得が続いていることで、今期も35万人超を新たに開拓、累積の顧客数は150万人以上となる。ただ、CPOは徐々に効率が悪化しており1万円台で推移した。主力商品の「セサミンEプラス」は、単品で売上高の約4割を占める。また、「DHA+セサミン」が伸長、15%程度の規模となった。セサミンに続く柱と期待する「アラビタ」の構成比は約5%となった。平均顧客単価は、6,000円台とほぼ前期並みだった。新聞、雑誌、テレビ、ラジオの主要4媒体に投じた広告費は約60億円。来期も引き続き積極的に新規顧客を獲得し、「アラビタ」などの商材の成長通じて、売上高は前期比16.2%増の250億円、経常利益は同16.6%増の35億円を目指す。(2005年12月8日 通販新聞)

### **味の素、ロシアでアミノ酸・核酸発酵技術の研究開発拠点拡大で新研究棟を建設**

味の素株式会社は、アミノ酸・核酸発酵技術の研究開発拠点であるAGRI(モスクワ)の新研究棟建設に約13億円の投資を行い、2007年4月に竣工する予定だ。味の素は、アミノ酸・核酸等の発酵生産微生物の研究で世界的に高い評価を得ているロシアの国立研究機関であるジェネチカ研究所とともに、ロシア初の研究合弁会社であるAGRIを1998年12月に設立した。同社のコアビジネスであるアミノ酸・核酸事業の競争環境がグローバル化するなか、新たな研究拠点を構築し、発酵生産の基盤技術をさらに向上させ、事業の優位性を強固なものにすることが目的。2003年6月には同社の出資比率を75%から100%に増やした。設立後7年を経て、より一層の研究成果創出を目指し、最新研究設備の設置や発酵技術を活用した新製品開発など研究領域の拡大にも対応可能な新研究棟を建設することを決定した。(2005年12月13日 味の素 プレスリリース)

### **ヤクルト、オーストラリア Thorpedo Foods 社とスポーツドリンク「ソーピード・ウォーター」の日本での製造・販売で提携**

株式会社ヤクルト本社では、Thorpedo Foods社(ソーピード・フーズ社)と「THORPEDO」ブランドを使用した飲料を日本国内で独占的に開発・製造・販売する旨の提携について12月13日に基本的合意に至った。Thorpedo Foods社は、オーストラリアの食品会社So Natural Foods社と世界的水泳選手であるイアン・ソーブ氏(Ian Thorpe)の合弁会社で、「健康的で優れた栄養素に満たされた生活を届けたい」というイアン・ソーブ氏自身の強い思いからスポーツドリンク「THORPEDO Water(ソーピード・ウォーター)」を2004年からオーストラリア国内で製造・販売しており、世界進出の一環として日本でのビジネスパートナーを探していた。また、ヤクルトでは、かねてから機能性飲料の新ブランド商品の導入を検討していた。当提携により、「THORPEDO」ブランド、およびイアン・ソーブ氏の肖像権等の知的所有権について、日本国内の飲料カテゴリーにおける当社の独占的使用が可能になる。(2005年12月15日 ヤクルト本社 プレスリリース)

### **花王、スポーツドリンク「ヘルシアウォーター」が特定保健用食品の表示許可を取得**

花王株式会社は、茶カテキンを豊富に含むスポーツドリンク『ヘルシアウォーター』について、12月9日付で、厚生労働省から特定保健用食品の表示許可を取得した。花王では、長年の栄養代謝、肥満研究



の成果から、特定保健用食品の許可を取得し、2003年より『ヘルシア緑茶』『ヘルシア烏龍茶』を発売してきた。これらの商品は、体脂肪が気になる消費者の支持を受け、健康茶系飲料市場の拡大に貢献している。今回、花王は高濃度茶カテキンを継続摂取すると、普段の生活の中でエネルギーとして脂肪が消費されやすくなることを科学的に実証した。こうした事実に基づき、スポーツや運動を習慣化することが難しい現代人のために、継続して飲むことで体脂肪への確かな効果が期待できる『ヘルシアウォーター』を開発し、スポーツドリンクとして初めて体脂肪関連分野で特定保健用食品の表示許可を取得した。『ヘルシアウォーター』は、スポーツ時のみならず、入浴後・起床時といった喉の渴きを感じるあらゆる生活場面で飲むこともできる。本飲料は来夏をめどに発売する予定。(2005年12月20日 花王 プレスリリース)

#### **大広、博報堂、読売広告社が通販業務専門の共同出資会社を設立**

大広、博報堂、読売広告社は、12月8日、通販業務全般を支援する共同出資会社「株式会社D&Iパートナーズ」を設立した。資本金は4億円で出資比率は大広が70%、博報堂、読売広告社が各15%ずつ。同社社長には大広の通販支援子会社のディー・クリエイトのCRM事業部で、サントリーの通販事業のデータ分析等の支援業務を手掛けてきた大串浩章氏が就任した。近年、健康食品や化粧品を展開するメーカーの通販参入が増えているが、ノウハウ不足等が影響し、成功事例はそれほど多くないのが実情。新会社では、ディー・クリエイトの通販業務の支援ノウハウをベースに、主にメーカーの通販業務における顧客管理・受注システムの構築運営、コールセンターの請負、配送・決算業務の構築支援のほか、コンサルティング業務を手掛け、テレビやラジオ、新聞、雑誌のマス媒体で通販事業を展開し、広告主であるメーカーの通販事業および参入を後押しする。(2005年12月22日 通販新聞)